

■屋内緑化コンクール2023 受賞結果一覧

今回の受賞においては、
賞を提供してくださる団体にふさわしい
作品を選び掲載しました。

審査日：令和5年5月16日
 応募点数：作品部門55点 緑の取り組み部門10点 計65点
 審査委員：町田ひろ子 町田ひろ子アカデミー代表取締役（審査委員長）
 槇島みどり 東京農業大学客員教授 景観デザイナー
 松本 博 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授
 前田 悟 屋内緑化推進協議会会長

授賞	No	タイトル	所在地	受賞者	受賞理由	
作品部門（A）	農林水産省 農産局長賞	A-31	複合施設 屋内壁面 ルーバー緑化	東京都 中央区	セイレイ興産株式会社 株式会社日建設計 株式会社竹中工務店東京本 店 株式会社プラネット	東京駅八重洲口と地下道で直結する、企業本社オフィスを含めた複合施設（地下3階・地上14階）の、地下1階から地上2階の3フロアにわたる商業ギャラリー、イベントスペースの壁面に植栽している。企業のコンセプトである「HANASAKA～人を、未来を、咲かせよう」を表現し、イベントスペースをぐるりと包み込む壁面植栽に加えて、天井から吊り下がる桜のアートワークを設置し、LED照明による色の日変化、季節変化を演出し、アロマミストを噴射し芳香で人々心身をいやすことも行っている。通常はオープンスペースとして一般の人が自由に利用可能となっており、休憩・飲食・仕事の場として心安らぐ空間を提供している。また、維持管理は夜間に高所作業車・ローリングタワーを使って月2回程度実施しており、良好な生育を確保している。圧倒的なスケールと種々の装置による演出が行われており、屋内緑化の集大成ともいえる空間であるため選ばれました。
	一般社団法人日本 インドア・グリーン 協会 理事長賞	A-42	爽緑アートウォール natural green	石川県 金沢市	株式会社総合園芸	『緑の癒し体感型カフェ』を目指し、来店者に「緑の効果効能」を体感していただき、自然の中にいるような寛ぎと癒しを感じていただけるようデザイン、設計・施工がなされている。同じ敷地内の、園芸の店舗、外構工事相談窓口もあるため、お客様のご自宅や職場の緑化相談にもつながる空間とした。自然を感じてもらうため屋内の壁面緑化だけでなく、屋外の庭スペースにも多くの樹木を植栽し季節を感じてもらえるように、広いガラス面を配している。室内の限られた空間で緑量を確保するために壁面緑化は有効であり、さらに背丈のある樹木を配することで樹の下で過ごす心地よさも味わえる空間となっている。壁面緑化とフロアに配した観葉植物はハイドロカルチャーであり、植物の空気清浄機能と温熱環境調節の最大化、水の使用量の最小化、虫や臭いへの懸念解消、を果たしている。ファニーチャーを含めて全体がモノトーン系の配色で緑が引き立っており、新たな提案がなされていることから選ばれました。
	一般社団法人日本 ハンギングバスケット協会 理事長賞	A-50	ホームセンターで自然を感じられる美味しい空間	兵庫県 神戸市	株式会社アグロガーデン 株式会社プラネット	開放感のあるオープンキッチンがあり、離れた場所からでも新鮮な野菜や食材、調理するシェフの姿 を見ることができる。色や香り・音が開放感のあるオープンキッチンがあり、離れた場所からでも新鮮な野菜や食材、調理するシェフの姿 を見ることができ、色や香りがおお客様の食欲を刺激し、都市空間におけるバイオフィリックデザインと 言えるカフェ&レストランである。飲食スペースは、座る場所によって見える緑の雰囲気が様々に変化し、大きく採られた窓からは季節や時間のうつろいが感じられ、窓から離れた場所では電球型照明により、落ち着いてくつろげる雰囲気が感じられる。窓際の多段コンテナによる緑化は外の景色を遮断することなく緑量を確保できている。天井からの吊り緑化は空間をやさしく区切っている。シンボルツリーヲ含め多様な緑化形態により構成されており、豊かな緑空間が演出させているとして選ばれました。
	屋内緑化推進協議会 会長賞	A-1	Botanical Pavilion	中華人民 共和国 北京	株式会社office ma 万科企業股份有限公司 都市実践建築設計事務所	北京の地上4階建てのパビリオンで、展示エリアと4層吹き抜けの中国最大規模のウインターガーデンで構成されている。マングローブを中心とした熱帯雨林・シダ類・コケ類・ヤシ類・多肉植物・食虫植物など約1,500種、20,000株が様々な生息地から集められ植栽されている。5つの展示ゾーンで交際されており、各ゾーンを周回することで植物が持つ多様な形態や環境への適応力を体現しながら学ぶことができる。グリーンインフラが注目されている現代において自然や植物が持つ知や機能、生命力などを実感できる学びの施設が丁寧に維持管理されている。寒暖差の激しい北京において温室内の温度・湿度を維持管理し、植物の生態に合わせた微調整を繰り返すことで常に適切な環境を維持している。世界的な物件に日本が参画し成果を出している。圧倒的な広さと植物量を適切に維持している状況を評価し選ばれました。
	屋内緑化推進協議会 特別賞	A-39	XICA Relocation Project	東京都 渋谷区	株式会社緑演舎	オフィスの移転に伴い、これまでにない斬新なオフィス空間創出・演出を行った。プロジェクトのコンセプトは、光をまとう瑞々しいオフィスの緑化空間の創出であり、苔・石・砂利・植物・水・土を使用してフロア全体で庭園にいるような空間を創出している。枯山水を連想するようなカーペットや本小松石のツールやテーブル、ミラーに版築を施す等、各所に細部までこだわった演出が点在されている。また、光による様々な演出も各所に施されており、映像を使用して石に水が流れるように見せる事でオフィスに滝と水落石があるような演出や、光る竹、時間と共に照度が変化する照明など、緑化エリアとインテリアとが調和したオフィス空間を楽しめるようになっている。石を取り入れたデザイン、床の演出、パウダリウム等今まで屋内で使用されていない素材で、落ち着いた色調による空間が構成されており、新たな空間デザインとして選ばれました。
緑の取り組み部門（B）	公益財団法人日本家庭園芸普及協会 会長賞	B-6	SLOW GREEN UNITY ～みどりを介した意識のバリアフリープロジェクト～	東京都 千代田区	大和リース株式会社 特定非営利活動法人日本セルプセンター 株式会社プラネット	社会の問題や課題を共有し、これからの社会が必要とする商品やサービスを創造・提供するという CSV（Creating Shared Value）に基づいた事業展開を掲げている。方針に基づき、障害福祉サービス事業所と連携し、植栽の維持管理を共同で行う「SLOW GREEN UNITY」を開始した。障がいの有無を超え、多様な人々が植物を通じて交流することで、意識のバリアフリー化、障がい者の社会進出や経済的自立の支援につながる。障害福祉サービス事業所の利用者が就労経験を蓄積するとともに、障がい者と健常者が一緒にメンテナンス作業に携わることによる意識のバリアフリー化を目的としたプロジェクトで、①賃金の向上、②施設外の就労経験の蓄積、③障害への意識の壁を取り除くことを目指している。今後は貸し鉢等の契約をしている企業に提案を進めていき、当プロジェクトが世の中に浸透していくように努めて行く。取り組みは評価に値し、興味を持てる内容であった。新たなシステムの提案、実施であり今後の進展を含めて選ばれました。
	一般財団法人日本花普及センター 会長賞	B-8	建築設計者によるバイオフィリア体験型ラボ	東京都 千代田区	株式会社安井建築設計事務所 株式会社日比谷花壇	建築設計事務所に、「育てる・香る・触れる・食べる」を通してバイオフィリアがもたらす効果を体感できるラボを開設した。社員自らが能動的に植物に触れ、実証実験を行うことで、メンタルヘルスの効果の実感や生き物ゆえの育成・維持管理の難しさを学ぶことができ、屋内緑化の可能性を広げている。ラボがもたらした知見が、彼らの設計する建築空間や事業・社会活動に反映され、そこで過ごす多くの人の生活にまで影響を及ぼすことを目的としている。緑と触れあうことで社員がこの取り組みをジブンゴトとして認識している。今後ワークショップを行い、社内全体を巻き込みながら 活動をSNSなどで社外へも発信して行く。緑への取り組み状況がよく理解できる内容である。設計者としてクライアントに緑の効果を実体験をもって提案して行けることは、緑業界にとり大きな発展につながることであり、期待を込めて選ばれました。